



3

2016
March

3月10日発行
第6巻 第9号 通巻64号

Bulletin



CHARTERED 2010

◆今月の聖句 マルコによる福音書第16章6節
あなた方は十字架につけられたナザレのイエスを探しているが、
あの方は復活なさってここにはおられない。

- クラブ会長主題 : 『The BEST』から『My BEST』へ: 波多野守一
- 国際会長主題 : “Mission with Faith” 「信念のあるミッション (使命・目標)」
- 国際会長 : Wichian Boonmapajorn (タイ)
- アジアエリア会長主題 : “Through Love, Serve” “信念のあるミッション (使命・目標)”
アジア会長 : Edward K.W. Ong (シンガポール)
- 西日本区会長主題 : 「あなたならできる! きっとできる」: “You can do it! Yes, you can!”
: 西日本区理事: 遠藤通寛 (大阪泉北)
- 京都部長主題 : いつも喜んでいなさい “Be joyful always” 京都部部長: 高田敏尚 (京都)



EMC 委員長として

石飛智慧

早いもので第6期もあと残すところ4ヶ月となりました、今期は我がZEROクラブにとって5周年を迎える大事な節目の期です。波多野会長のもと皆一致団結して、次期へまたは10周年へつながる実りの多い期にしたいものです。

と、熱い思いはあるものの自分の行動と照らし合わせると現実は思い通りにいかないものです。EMC委員長としては2期目となるので、要領は得ていると自負して引き受けたにも関わらず、なかなか自分が描いたような結果が出ず、メンバーからのアドバイスも批判のように聞こえる始末。

何の目的の為に自分が行動しているのかさえよく理解できなくなり、正直ここ最近では考えるのも少し億劫になっていました、しかし、先月数人のメンバーと沖縄県宮古島に行く機会を得ました。

事の始まりは、去年の九州部会に参加した際に阿蘇クラブのメンバーに前夜祭として食事会に招待されたのがきっかけでした、その食事会の会話の中で阿蘇クラブのメンバーのひとりから宮古島に旅行に行ったとの話題が出て、それを聞いたひとりのメンバーがなぜ旅行前にひとこと声を掛けてくれなかったのかと言いました、理由を聞くと約40年前に農業・酪農を勉強する為に渡米した経験があり、その数年間を苦楽を共にした仲間が全国に数十人いるとの事でした。特にその中でも宮古島にいる方は交友が深く、自分がひとこと声をかければ大歓迎してくれると言う事でした。

私はその南の離島に興味があったのでどんなところでどういうところが良いのかをそのひとりに尋ねました、そうするとそのひとりから意外な答えが返ってきました、そのひとは宮古島には一度も行った事がないとの事でした、そして先月そのひとは私と数人のメンバーと共に無事に宮古島の土を踏み込むことができました(笑)。

宮古島の海はとても蒼く美しく言葉や文字でこれ以上に表現するのは難しく、またその海以上に島の人達の人柄が素晴らしかった。

こんな素晴らしい出会いが今後もできるように。私以外の人にもこんな素晴らしい出会いができるように仲間を増やしていこう。そのように考えるようになりました。

あと4ヶ月難しく考えずにひとりでも多くの方にこの思いを伝えていこうと思います。今回のような経験ができたのもひとえにワイズメンであったということに尽きるのですから。



2月11日は河原町のラウンドワンにて” EMC ボーリング例会”でした。
 最初は参加人数は思ったより少なく寂しい感じでしたが、大いに盛り上がった例会でした。
 準備の出来たメンバーから練習投球をはじめ、和気あいあいと例会が始まりました。そしてこの時はまだ！これから始まる波多野劇場には誰ひとり気づいていませんでした。そう今回の主役は、なんとと言っても波多野会長なんです。
 私もボーリングは得意な方で自信もありましたが、この日ばかりは会長に完全に敗北、圧巻の一言でした。
 な、なんと7連続ストライク・・・
 今まで見たことのないようなスコアで完全優勝！
 参加メンバーもどこまでこのストライクが続くのか自分のスコアより興味深々なワクワクドキドキの例会となりました。

堂脇 武



この日の例会はビジョンアワーをメインに、かつ臨時総会の開催もなされた。

まず、河村ビジョン委員長から先日行われた委員会の報告がなされた。

1. 次次期京都部部長輩出の件：ZEROクラブよりの輩出決定を受けて、立候補者を募った結果、竹園ワイズから立候補の表明があったことが報告された。総会においての決定を前に、竹園ワイズより部長立候補の想いが述べられた。
2. IBC締結について：在ハワイオアフ島カイムキクラブとのIBC締結に向け、佐古田国際交流委員長の骨折りで先方クラブから全員一致での合意を得たことが報告された。
3. ZEROクラブ10周年に向けての記念例会・アクトについて確認がなされた。

引き続き、定足数を満たしての臨時総会が開催された。

第1号議案：次次期京都部部長として竹園ワイズ立候補を受けて、会員の擁立賛否がとられ、部長として輩出する件が可決された。

第2・3号議案：カイムキクラブとのIBC締結について決定。ハワイ区大会において締結式を行う事となった。

今期におけるIBC締結の実現と、クラブがワイズにおいて部長輩出という重責を担うという大きな決定がなされた特筆すべき例会となった。会員全員がいかにか心を一つにしてこの好機を生かし結束して行くことが出来るかが、今後のZEROの発展のために、かかっているといえるだろう。一人一人がそれぞれの役割を責任を持って果たし、一丸となってクラブ発展のために頑張りましょう！

西村 寛子



ハワイ カイムキクラブ訪問レポート

結論から言うと、中川雅世ワイズのご尽力無しには今回の訪問はおろか、IBCの締結合意に至ることはなかったと思う。中川ワイズは大阪土佐堀クラブのメンバーであると同時に、カイムキクラブのメンバーでもあり、彼女の存在はたまたま昨年夏のアジア大会で知り、11月の土佐堀クラブ例会で初対面を果たし、今回のハワイ訪問に至った次第。

当初の打診での先方の感触は、決して芳しいものではなかった。同クラブはすでに日本の二つのクラブとのIBCを締結済みで（東京世田谷クラブ、東京銀座クラブ）、これ以上の対日本IBC締結は不要、との空気がベテランワイズの中にあっただらしい。日本人が大好きなハワイの、しかもホノルル中心部にあるクラブということで、その後の他クラブからの引き合いも多く、「また日本からお誘いが来てる…」的な、半ば食傷気味なムードであっただらしい。

（中川ワイズ談）

しかしその後の当方の聴き取り調査で、すでに銀座クラブは数年前に解散しており、現存する世田谷クラブも高齢化に伴ってこの5年ほどはアクティブな交流実績は無いに等しいことが判明。（同クラブからもIBC締結を積極的に後押しいただいた）さらに前者の解散情報も当方からの報告で初めて知られたようで、これなら可能性があるかも知れない！と渡航を決意。

カイムキクラブもこの数年間は、ご多聞に漏れず高齢化の波にさらされていたようだが、昨年度に2～30代の若年会員がなんと5人もほぼ同時に入会し、今期の若き女性会長（ミス・ティファニー・キヤブ）のもと、YMCAサポート活動を中心に実にアクティブなクラブに生まれ変わりつつある状況が、彼らのブリテン（リマ・ハナ誌）からも十分に伝わってくる。

中川ワイズによると、これらの若手メンバーは今回のIBC締結話に、即、飛びついてきたとのことで、逆に中川ワイズを含むベテラングループが「ちょっと待ってよ、どんな人達だかも分からないまま、そんなに簡単に決めていいの？」と、彼らのヒートアップを抑えにかかったらしい。さすがは60年の歴史を誇るクラブだけのことはある。

そんなムードの中、何も知らない当方は単身、揚々と「敵地」に乗りこんだ訳である。単身と書いたが、実は、5歳になる当方の末娘＝京、を連れて行った（正確には、当方の現地での監視役として〇〇が強制帯同させた…）のが吉と出た。何と、カイムキクラブの会長を含むメンバーの約半数が、末娘と同じフィリピン人のルーツを持つ人達であったのだ。

このことが判明して以降、彼らの我々に対するムードは一変し、さらに我が波多野会長からの親書の読み上げにもいたく感銘を受けていただいた様子で、この時点で今回の強硬訪問が成功したことを確信。例会が終わり近くになった頃、ティファニー・キヤブ会長から「私たちはZEROクラブとのIBC締結に全員一致で合意しました。コングラッチレーション！」との発表の時点で当方は感無量となった。

今後は基本的に当クラブが締結書の準備を受け持つこととし、5月中旬に開催予定のハワイ・コンベンションにて、正式調印という流れで合意。意気揚々とハワイの地を後にしたのであった。

京、ありがとう 佐古田正美



京都部チャリティーボーリング

2月28日(日曜日)

ボーリング大会に参加する事になりましたが、私は今まで1回しかボーリングをプレイした事がなく、また何も分からないので応援だけと思い参加しました。

ところが会場に着くと突然プレイしなければならなくなり緊張しました。ピンを全部倒さなければ点数が入らないと思いついでプレイしたせいか上手いかず恥ずかしい思いをしました。

全く上手く出来ませんでした。がだんだんルールも分かってきて、最後は楽しくプレイ出来ました。

次回はもう少し練習をして参加したいと思います。

バネッサ 坂口

1. 第12回インターナショナル・チャリティーラン参加申込開始

3月5日(土)より第12回インターナショナル・チャリティーランの参加申込受付を開始します。協賛のご支援も受付中です。ご協力よろしくお願ひします。

参加申込みは、リーフレットの専用振替払込用紙に必要事項をご記入の上、京都YMCA三条本館1F窓口にてお手続きいただくか、大会HP (<http://kyotoymca.or.jp/c-run>) のメールフォームよりお申込みください。協賛お申込みは、リーフレット同封の協賛申込書にご記入の上、京都YMCA三条本館1階窓口にてお手続きください。

2. The Y cup 第3回京都ミニバスケットボール大会

今年で3回目になるThe Y cup 京都ミニバスケットボール大会を下記の日程で開催します。大会当日ボランティアを募集しています。ボランティア可能な方は京都YMCA(担当加藤)まで

日 時 3月19日(土) 20日(日) 午前9時～午後5時まで

会 場 京都市横大路運動公園体育館

3. 第2回マイ・マイフォーラム

聴覚障がい児プログラム研究会「マイ・マイ」が、「聴覚障がい学生の就職」をテーマにフォーラムを開催します。当事者の立場から、また受け入れる企業の立場からのお話を通して情報交換をし、理解を深める機会です。ぜひご参加ください。

日 時 3月20日(日) 午後1時30分～4時

場 所 京都YMCA三条本館 マナホール 参加費 無料

情報保障 手話、要約筆記、FM補聴システム

お申込み (TEL) 075-231-4388 / (FAX) 075-251-0970

(E-mail) kyoto@ymcajapan.org

4. 平和のための開発教育セミナー

平和をテーマにした「開発教育」の入門編のセミナーの第3回目です。1回だけの参加も可能です。ぜひご参加ください。

日 時 3月25日(金) 午後7時～9時

テ ー マ ちがいのちがい

場 所 京都YMCA三条本館204号室

対 象 興味と関心のある方 参加費 無料

お申込み (TEL) 075-231-4388 / (E-mail) kokusai@kyotoymca.org

5. チャリティーライブ

例年、京都YMCAではチャリティーコンサートを開催し得られた収益金をインド・ランチYMCAが取り組んでいるハンセン病患者とその家族のコミュニティーの支援に用いてきました。

今年は、参加者の皆さんが楽しめるよう歌や音楽が好きな有志によるチャリティーライブイベントを開催します。出演者も募集中です。ぜひご参加ください。

日 時 3月27日(日) 午後5時～8時 (受付開始: 午後4時～)

場 所 オールディーズライブハウス アメリカングラフティーズ
(京都市中京区木屋町通六角西入ル 六角テラスビル1階)

参加費 6,000円(フリーフード、フリードリンク付き)

お問合せ・お申込み 活動推進専門委員 北川まで (E-mail) kitagawa@mat-c.jp

(TEL) 075-344-6210 / (FAX) 075-744-1970





知恵袋

岸田 靖司

iPhone 限定な話ですが。
メールやメモなんかに文章を書いているとき、何行か選択してコピーしようとしているときなど、
せっかくなにか書いた文章を消してしまったことはありませんか？

ぼくは大作が全消去になってしまい落ち込んだことが何度かあります。
でも大丈夫！ iPhone を二回振ってください！
取り消すを取り消し出来るんです。元に戻すって意味です。
ぜひ覚えておいてください^^

HAPPY BIRTHDAY

3月13日 石倉直人
3月19日 西村寛子
3月24日 河村栄二
3月30日 奥村 悟

HAPPY ANNIVERSARY

3月24日 河村栄二&美由紀
1月16日 熊本裕滉&有加

2月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	13/21名	14/21名	
メネット	0名	0名	
コメット	0名	0名	
ゲスト	0名	0名	
月間出席者	18/21名	月間出席率	85.70%

TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

ニコニコ

2月	13,890円
累計	88,890円

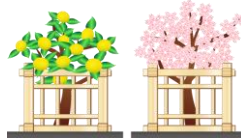
ファンド

2月	0円
累計	317,142円

編集後記



岸田 靖司



寒かった2月も終わり皆様いかがお過ごしですか？

今年はいうう年なので1日得しましたね^^

2月はラウンドワンでボーリング例会もあったりして斬新な思い出も出来ました。

気づけば後3カ月で波多野会長の期が終わるんですね。

残り3カ月、みんなの笑顔で盛り上げましょう！